

祖国より東日本大震災被災同胞たちへ慰問金と慰問電

24日発朝鮮中央通信によると、金正日総書記が東日本大震災で被災した在日同胞に慰問金50万ドルを送った。また、朝鮮赤十字会中央委員会が24日、日本赤十字社に慰問金10万ドルを送った。

朝鮮中央通信によると、東日本大震災で総連と同胞たちが大きな被害を受けたことに関連し、朝鮮最高人民会議常任委員会の金永南委員長が21日、総連中央の徐萬述議長に慰問電を送った。

金永南委員長は慰問電で、東北地方を中心とした広い地域での大地震と津波によって、総連の各機関と同胞たちが大きな人的、物的被害を受けたことに対し、総連中央常任委員会と被害地域の総連活動家、同胞、そして遺族たちに心からの哀悼と同胞愛を込めた慰問を送るとした。また、総連中央常任委員会が緊急対策を立て、被害地域の同胞たちの生命と安全を守るために積極的な救援活動を行っていることは、在日同胞たちの団結した力を見せることになると指摘した。そして「私は総連のすべての機関と同胞たちが不屈の意思と温かい同胞愛、団結した力で地震被害を一日も早く乗り越え、安定した生活を送れるようになることを願っています」とのメッセージを送った。

全国各地から支援物資続々到着！

今週に入り全国各地の総連本部や様々な団体、個人から支援物資が多数届けられています。

23日には愛知県本部からトラック2台分の支援物資が届きました。食料品や日用品、医薬品などどれも被災地ではすぐに役立つものばかりです。また、その日の夜には焼肉塾(同胞若手飲食業経営者研究会)の代表達が肉、キムチ、米をもってハッキョを訪ねてくれました。

25日現在、支援物資を送ってくれた団体はチョヨン・青商会支援隊、商工連合会、教職同中央・中央教育会、総連愛知県本部、焼肉塾、総連新潟県本部、総連千葉支部、総連栃木県本部、総連群馬県本部、総連広島県本部(広島歌舞団河弘哲団長同行)、ニョメン西東京、などで、今後総連葛飾支部、京都府本部、香川県本部、愛媛県本部、鳥取県本部、朝鮮新報社からも届くことになっています。(総連大阪府本部からも届くことになっていましたが、宮城に送るようになりました。)

24日にはウリ信用組合福島支店から食料品の支援があった他、県内同胞からも地震発生直後から米、肉、そば粉等の食料品や布団、毛布、慰問金など様々な支援をいただきました。

中通同胞訪問

総連中通支部では23日、商工会、金剛保険の職員とともに中通地域の主に高齢者世帯36軒を訪問しました。浜通地域ほどではないにしても断水、物資不足で不自由な生活を強いられている同胞たちはイルクンたちの訪問をととても喜んでくれました。

各地から届いた支援物資を渡そうとすると「私たちよりもっと大変な人が大勢いるはずだから…」といって受け取らない人もいたそうです。

*最近水道水が汚染されているとの報道がありました。支援物資の中にミネラルウォーターがあるので、乳幼児がいる家庭で「水」が必要な方は支部にご相談ください。

地域の避難所に支援物資

各地から届いた支援物資を、地域にも役立てようと県災害対策本部に申し出たところ、郡山北工業高校にいた富岡町、大熊町の避難民たちの物資が不足しているとの情報を聞き、米100kg、肉、キムチなどを届けました。行政担当者は炭水化物はいきわたってきたが、肉やキムチは大変ありがたいと言っていました。総連本部では今後もできるかぎり地域の避難所への支援をおこなっていきます。

ウリ避難所情報

ハッキョの避難所は25日現在トンポ9名、日本人8名の17人がいます。今週に入り他県の家族の所に移った人がいますが、断水のため3名のトンポが新たに加わりました。全員が各地から届いた支援物資に感謝し、お互いに助け合いながら生活しています。